

## 第4章 重点プロジェクト

望ましい環境像の実現に向けて、本市の地域特性や課題などを踏まえ、重点的かつ計画的な展開を図っていく必要がある重点プロジェクトを推進します。

### 1. 再生可能エネルギーの利用推進

太陽光などを活用した再生可能エネルギーの利用を推進し、カーボンオフセット制度等と連携した新たな施策を検討します。

### 2. バイオガスプロジェクトの推進

生ごみ等を活用したバイオガスプロジェクトを推進し、資源循環型社会システムの構築を目指します。

### 3. EV普及によるまちづくりの推進

EV（電気自動車）普及によるまちづくりを進め、本市の温室効果ガス排出量の約42%を占める運輸部門の削減対策を推進します。

### 4. 生物多様性の保全

「生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性を保全することにより、健全で恵み豊かな自然環境を将来の子どもたちに継承します。

### 5. 環境保全活動のネットワークの構築

「かごしま環境未来館」を中心として、市民・事業者・市民活動団体など、さまざまな活動主体とネットワークを構築し、協働・連携しながら環境保全活動を推進します。

## 第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	1 再生可能エネルギーの利用推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	「再生可能エネルギー導入促進行動計画」（平成27年12月策定）に基づき、再生可能エネルギーの利用推進に関する施策を推進した。
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(平成30年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゼロエネルギー住宅等の整備促進 住宅用太陽光発電システムを設置する市民等に対して、補助金を交付した。 平成30年度末現在の累計実績：設置件数：11,990件 出力総計：50,787kW</li> <li>○太陽光発電システムの公共施設への率先導入 メガソーラー発電所計画に基づき、公共施設へ太陽光発電システムの設置を推進した。 平成30年度末現在の累計実績：81施設 2,103.16kW</li> <li>○温泉熱利用システム導入可能性調査の実施 温泉熱（排湯熱を含む）を熱源として給湯などに利用するシステムの公共施設へのモデル的導入に向けた可能性調査を行った。</li> <li>○木質バイオマス熱導入支援セミナーの開催 木質バイオマス熱利用について理解を深めるため、事業者を対象にセミナーを開催した。</li> <li>○市有施設の屋根貸し太陽光発電事業者による出前授業 対象：小学校4校</li> </ul>
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○固定価格買取制度など再生可能エネルギーに関する国の動向等を踏まえ、施策に取り組む必要がある。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本市が取り組む再生可能エネルギーの導入促進策検討 「再生可能エネルギー導入促進行動計画」に基づき、再生可能エネルギー電力の供給拡大方策に加え、太陽熱や木質バイオマス熱などの再生可能エネルギー熱の利用や、エネルギー利用の効率化を図るエネルギーマネジメントなど電力需要量を削減する需給両面での取組を推進する。</li> </ul>

## 第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	2 バイオガスプロジェクトの推進
主管課	南部清掃工場
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(これまでの検討経過)</p> <p>24年度 バイオガス施設整備基本計画策定                  25年度 バイオガス施設整備基本計画の詳細検討及び同計画を                  基に、南部清掃工場の整備スケジュールを調整                  26年度 新南部清掃工場（ごみ焼却施設・バイオガス施設）整備基                  本計画策定                  27年度 生活環境影響調査業務、測量業務、地盤調査業務、                  基本設計・事業手法選定調査業務実施                  28年度 事業者選定支援業務（要求水準書作成等）実施                  29年度 事業者選定、特定事業契約、建設工事着手</p> <p>(30年度事業内容)</p> <p>29年度に契約した建設工事の実施設計を行い、工事に着手した。</p>
	<p>【課題等】</p>
今後の方向性	<p>○新南部清掃工場のごみ焼却施設とバイオガス施設を一体整備し、令和3年度供用開始を目標に、事業に取り組んでいく。</p>

## 第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	3 EV普及によるまちづくりの推進
主管課	再生可能エネルギー推進課
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○EV購入時の補助</li> <li>○公用車への率先導入</li> <li>○インフラの整備</li> </ul>
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>(30年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○EV購入時の補助 EVの普及を促進することにより、自動車使用に伴う温室効果ガス排出の削減を図るため、EVを購入する市民、事業者に対して助成した。 ・補助額 : 10万円/件 ・補助件数 : 60件</li> <li>○公用車への率先導入 「鹿児島市環境対応車導入指針」に基づき、本市公用車及び市営バスを可能な限り環境対応車に計画的に切り替えており、電気自動車の導入も行った。 ・導入台数 : 1台</li> <li>○充電インフラの管理運営 かごしま環境未来館に設置している急速充電設備の管理運営を行った。 ・利用件数 : 1,300件</li> </ul>
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○同種のガソリン車と比較して車両本体価格が高額で航続距離が短い。</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○走行時に温室効果ガスを排出しないEV普及によるまちづくりを推進する。</li> </ul>

## 第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	4 生物多様性の保全
主管課	環境保全課
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>鹿児島市生物多様性地域戦略（平成26年3月策定）に基づき、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を推進した。</p> <p>【平成30年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「かごしま自然百選」ガイドブックの配布、案内看板の設置</li> <li>②市民活動団体等との協働による生物多様性保全活動の推進</li> <li>③国際生物多様性の日（5月22日）を契機とした市公共施設等と連携した生物多様性の実感イベント等の開催</li> <li>④小学生向けWEB教材の作成及び開設、 生物多様性学習教材副読本の作成</li> <li>⑤第8回生物多様性全国ミーティング&amp; 生物多様性自治体ネットワークフォーラムの開催 （10月8日：鹿児島市中央公民館）</li> <li>⑥生物多様性自治体ネットワーク定期総会及びエクスカーショ ン開催 （10月9日：鹿児島市役所講堂、桜島ビジターセンター等）</li> </ul>
	<p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市内の生物多様性（生き物の生息生育）の情報不足への対応</li> <li>○生物多様性への認知度や理解度の向上</li> <li>○かごしま自然百選に選定された地域の今後の保全策の検討</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際生物多様性の日を契機とした生物多様性の実感イベント等の開催の拡大、かごしま自然百選の活用、小学生向けへのWEB教材等の利活用により、生物多様性への認知度や理解度を高める取組を積極的に推進するとともに、市内の生物多様性に関する情報の収集方法等について検討する。</li> </ul>

## 第二次鹿児島市環境基本計画 重点プロジェクト

プロジェクト名	5 環境保全活動のネットワークの構築
主管課	環境政策課
現状と課題	<p>【現状および実績等】</p> <p>地域における環境学習や環境保全活動を推進していくため、地域で環境保全活動に取り組む市民団体や事業者と協働して各種事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域まるごと 共育講座 平成30年6月19日～平成31年2月16日（全35講座）</li> <li>○環境活動発表交流会 平成30年9月29日（会場：かごしま環境未来館、43団体参加）</li> <li>○地域まるごと環境フェスタ in 谷山 平成30年10月13日（会場：イオンモール鹿児島）</li> </ul> <p>※環境未来館登録団体 70団体（H31.3.31現在） 【平成27年度よりサテライト団体と登録団体を統合】</p>
	<p>【課題等】</p> <p>○各団体の現状や求めていることの把握や、市民・学校・事業者・市民活動団体・大学・ボランティアなどを含む利用者間の交流促進による人材育成が必要である。</p>
今後の方向性	<p>○環境保全活動の拠点施設であるかごしま環境未来館のリニューアルに合わせ、ハード・ソフト両面から、人材育成を推進する仕組み作りを検討する。</p>